

H29 年度 経営計画書

社会福祉法人 福知山学園

■ 社会福祉法人改革の本格施行年度を迎えた。

当法人においても評議員選定委員会のもと新評議員が選任され、新年度第 1 回(新)評議員会にて新理事・監事選任の運びとなる。

長年に亘り当法人の事業経営を支え、幅広い視座と見識により法人の進むべき針路を導いていただいた(旧)理事・監事・評議員の皆様へ改めて深謝を申し上げたい。

今日に至る道程、幾多の転換期を振り返ると同時に、真に必要とされる社会福祉法人として安定的事業継続を進めていくべき決意と覚悟を新たにすところである。

■ 将来に連なる経営の安定性、事業継続強化の礎としては、財務規律の強化や経営組織のガバナンス確立は不可欠であるが、何よりも人材の確保・育成・定着促進を最重点課題に位置付ける中、先駆け的かつ計画的に「人(人材)への未来投資」を一段と強化していきたいと考えている。

人材育成及び組織強化の柱となる新人事管理制度再構築については、昨年度プロジェクトコア会議による検討・シュミレーションを重ね制度のフレームと関連マニュアルを整理したところである。

平成 29 年度からの新人事管理制度の実運用にあたっては、目指すべき職員像やキャリアアップが明確にイメージでき、やりがいと働き甲斐が感じられる職場、代理観を保有した次世代職員育成、役割と責任の明確化、縦横に筋の通った組織づくりなど、風通しが良く、広く魅力を発信し続ける法人へと飛躍できるよう管理者・職員一体的な制度活用を進めたいと考えている。

■ さて、次なる一大プロジェクトである「FUKUGAKU バリュアッププラン」に関しては、みわ翠光園改築計画を中心に据えると共に、就労 A 型事業所の開設や地域拠点型事業所開設による地域生活支援機能の再強化を図る総合プランである。

平成 29 年度については、多角的情報収集やシュミレーションをさらに進めると同時に、関係行政機関等との協議を加速化し、進むべき道筋を着実に切り拓く年度にしていきたい。併せて、事業全体構想や建築・整備構想をより具現化すると共に、障害高齢者特化支援や地域生活・就労支援を担うスタッフ育成と支援ノウハウ蓄積を計画的に進めていきたいと考えている。

■ 社会・経済の構造的変化により社会福祉ニーズそのものが益々普遍化している。

ソーシャルワーカーとして人権感覚と専門的スキルに磨きをかけ、支援・サービスを必要とされている全てのご利用者の笑顔のためチームアプローチを意識化すると共に、地域の安心と幸せづくりのため制度の隙間にも視点を注ぐ中、法人として目に見える地域貢献を模索していければと思う。

そして、何よりも本法人に関わる多くの管理者・スタッフが、夢を語り、誇りと生きがいを感じ、思いやりと温かさをもとに協働し合える組織文化を醸成していければと考える。

I 経営理念・ビジョン

1. 経営理念

～いのちいきいき。福知山学園～

『ご利用者の皆さんが、笑顔で生き生きと
喜びのある日々を過ごして頂くことが私たちの喜びです』

1. オンリーワン支援

一人ひとりの無限の価値を認め、思いやりと細やかなサービスで生きがいある生活を支援します

2. 福知山学園ファン

トータルな福祉サービスで、ご利用者、ご家族、地域の方々に安心・信頼して頂き、適切な情報発信により福知山学園ファンを広めます

3. 活力あるチーム

経営理念、ビジョンを共有し、磁力ある目標をエンジョイ & チャレンジで実現します

2. 行動信条

私たち一人一人が感謝とハイよろこんで！の精神で日々の業務に取り組み、人間力と技術力を磨き幸せな人生を送ります

1. 肯定思考

- a. 常に感謝の気持ちを持ち、「ありがとう」と素直に言います
- b. 何事も自己成長のチャンスと考え、前向きに取り組みます

2. PDCA(計画⇒実行⇒反省⇒改善)

- a. 施設の年度目標を、チームの目標として具体化し、チームプレーの中で達成に向け努力します
- b. 行動する前に計画を立て、行動後に反省、改善し、行動レベルをアップします

3. 重要感表現

- a. 挨拶は人との出会いの第一歩です。自分から進んで笑顔で挨拶をします
- b. 聞き上手は、情報が得られるアンテナです。素直な心と態度で、会話の中の情報を見つけます
- c. 感謝の心は、人をつなぐ架け橋です。何事に対しても感謝の気持ちを持ち、“ありがとうの心”で人と接します

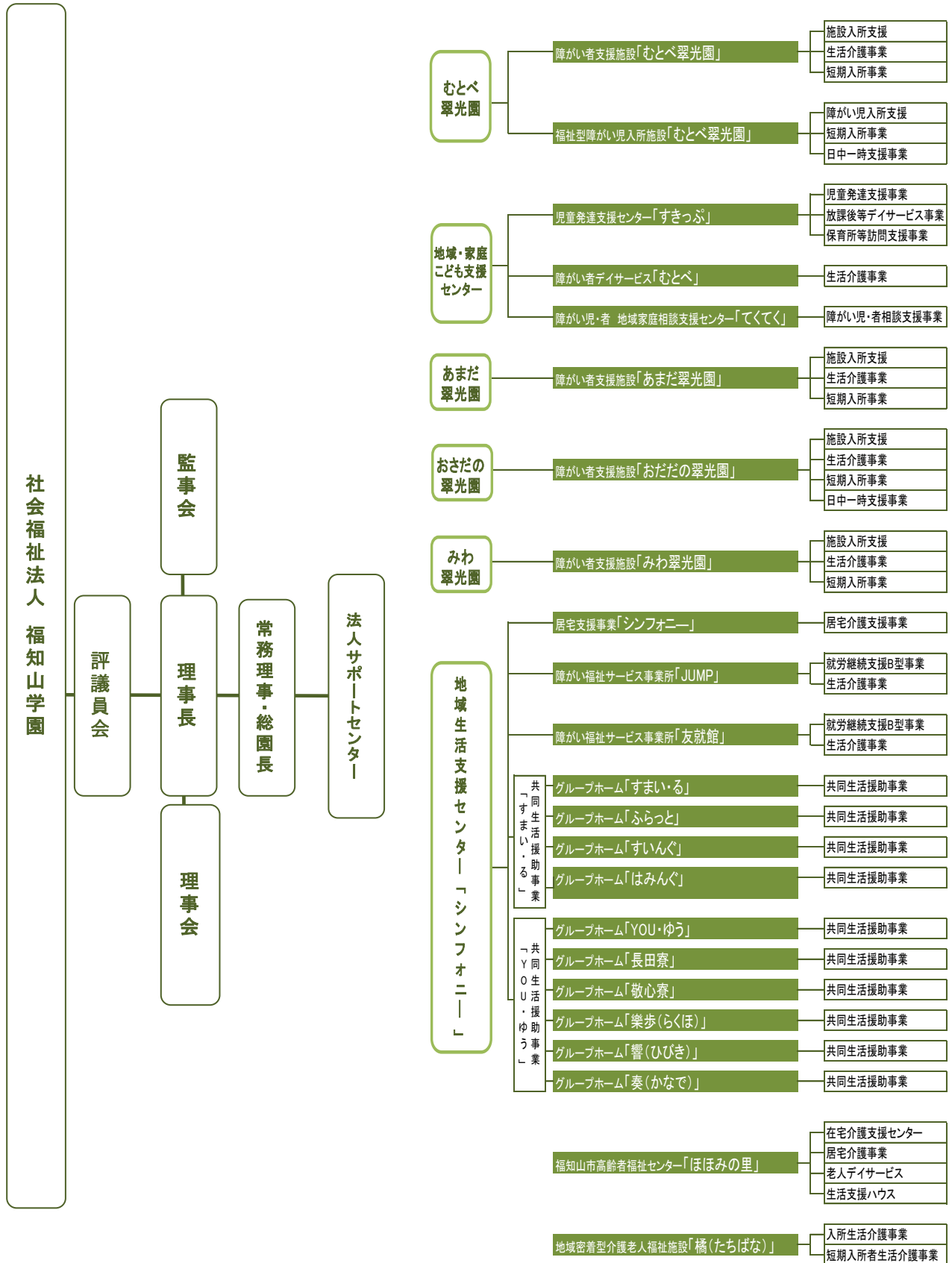
4. 報告・連絡・相談

- a. 確実な報告・連絡・相談を行い、チームプレーの向上を図り、質の高いサービスを提供します
- b. コミュニケーションの良い職場をつくり、互いの信頼関係を深めます

5. よい習慣づくり

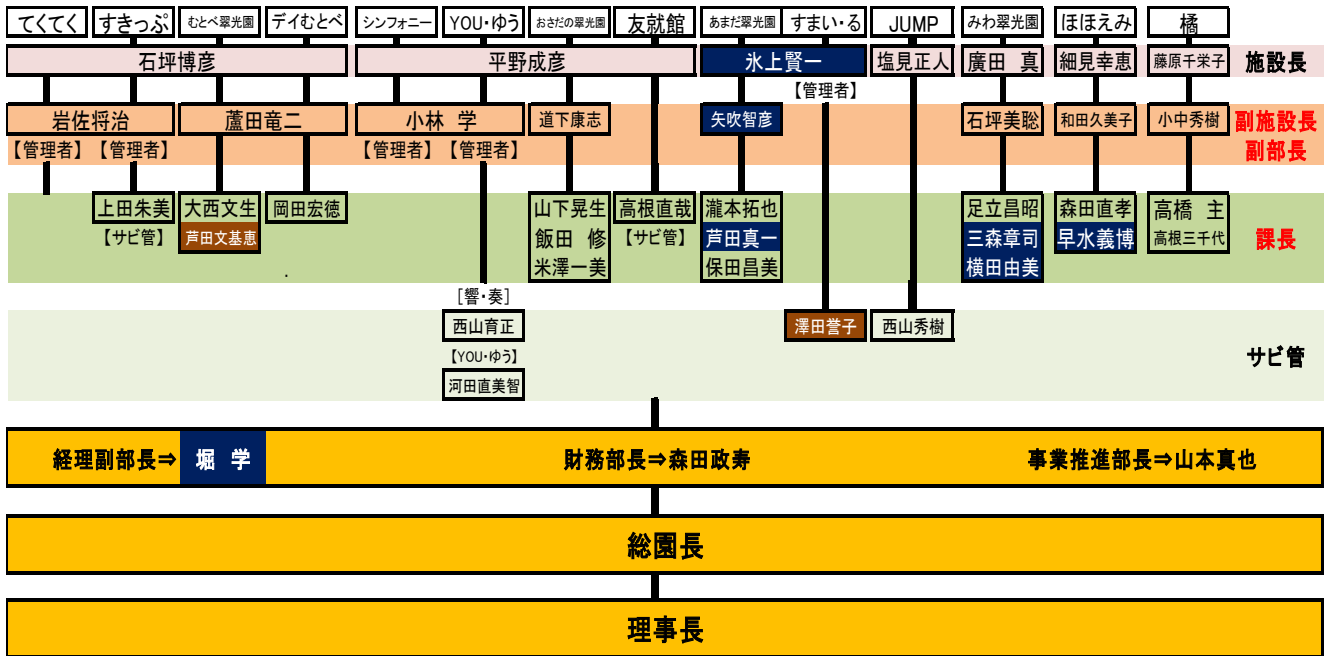
- a. 良い習慣を身につけ、実り多い人生をつくります
- b. 一度始めたことは、成果がでるまで続けます

Ⅱ. 平成 29 年度 事業体系



Ⅲ. 法人管理体制・委員会体制

◇法人管理体制◇
H29年4月



◇法人委員会体制◇
H29年4月

<ワークライフ向上委員会>

むとべ翠光園	あまた翠光園	おさだの翠光園	みわ翠光園	シンフォニー	てくてく	ほほえみ	橘	就労部門	サポートセンター
蘆田竜二	矢吹智彦	道下康志	石坪美聡	小林学	岩佐将治	和田久美子	小中秀樹	高根直哉	堀学



<各委員会>

委員長	RM委員会 三森章司	研修委員会 岡田宏徳	人権委員会 芦田文基恵	広報委員会 森田直孝	栄養委員会 佐藤多恵	医務委員会 井地明子	福知山学園PRチーム 畑田祥大
副委員長	飯田修	高橋主	上田朱美	保田昌美	丸山陽子	奥村広子	

むとべ	大西文生	岡田宏徳	芦田文基恵	片山英昭	出原佑基	長谷田美和子	出野成
あまた	芦田真一	上羽悠介	瀧本拓也	保田昌美	石井万裕	藤雄木恵美子 田中亜由美	大西晶
おさだの	飯田修	米澤一美	山下晃生	河田史也	佐藤多恵	奥村広子 田中正子	今川有佳
みわ	三森章司	足立昌昭	中越雄司	横田由美	定森香奈	井地明子 吉田沙織	佐藤拓也
ほほえみ	早水義博	高橋主	高根三千代	森田直孝	和泉華世	古川泰美	
橘	竹下範宏			岸上昌広	丸山陽子	新宅直美	
JUMP	西山秀樹						
友就館							畑田祥大
シンフォニー	河田直美智		上原裕一	西山育正			
てくてく	矢持雄二		上田朱美				
すきっぷ							

IV. NEXT50 ～未来を拓く～

— 50年先へ、10の約束 —

平成 21 年度計画策定	平成 28 年度までの実績	平成 29 年度 計画
1. こども保育施設を開設  ます。	平成 26 年 4 月 福知山市児童発達支援センター 「すきっぷ」開所	・各関係機関との連携と情報発信の強化を行う
2. グループホーム 30 棟！ 入居者 200 人！ 重度対応型グループホームも充実させます。	平成 25 年 12 月 重度対応型 GH 響・奏開所 [GH10 棟！] 長田地域：6 棟/三和地域：4 棟 [入居者合計 63 名]	・ FUKUGAKU バリユー アッププランにて 平成 30 年にグループホーム 着工を目指し検討する
3. 福知山市内だけでなく市外でもサービスを提供します。	FUKUGAKU バリユーアップ プランにて検討中	・ ニーズ調査
4. 医療と福祉の総合サービスの提供をします。	情報収集	・ 障害者施設での 看取り対応についての検討
5. 就労継続支援 A 型事業所を展開し、ご利用者平均年収を 130 万以上にします	就労継続支援 B 型事業所 工賃 友就館 18,500 円 JUMP 7,000 円	・ FUKUGAKU バリユー アッププランにて、就労 A 型 事業所（CK）の情報収集と検討
6. 児童入所施設を 50 年後も継続します。	平成 26 年 3 月より 児童入所定員 20 名	・ 9 年目突入
7. 地域の雇用と安定のために職員数を 500 人にします。	平成 29 年 3 月 総職員数 373 名	・ 採用情報、福知山学園 の魅力発信の工夫 ・ 地元での就職フェアの開催
8. 幼児から高齢者までを包含する総合社会福祉サービスの整備に努め、ご利用者・職員・ご家族を含めて福知山学園ファン 5000 名を目指します。	平成 26 年 4 月 すきっぷ開設により、1 歳児～橋・ほほえみの里高齢者サービスまで、どのライフステージのサービスにおいても提供可能となった。	・ 満足度調査の実施 ・ 関係者リストの作成 ・ 社会貢献活動の実践 ・ 福祉ボランティアの積極的受入 ・ 施設見学の積極的受入
9. 法人内事業所でとられた、おいしいお米と野菜の「レストラン」もしくは「お弁当ショップ」を開店します。	FUKUGAKU バリユーアップ プランにて検討中	・ FUKUGAKU バリユー アッププランにて配食 サービスを検討していく
10. 介護福祉士、ホームヘルパー（介護初任者研修）を育成する専門学校を設置します。 	平成 27 年 4 月より福知山市の民間施設連絡協議会により、一般社団法人として福祉専門学校を開設。みわ翠光園 廣田施設長が初代理事長・校長として就任。	・ 3 年目突入

V. 法人重要課題と現状分析

1. 法人運営重要課題

- (1)代理観をもった次世代職員の育成 [W-4×0-1]
- (2)現在と未来の福知山学園魅力発信計画の実施 [S-3・5×T-1]
- (3)地域・社会貢献としての活動計画と実践 [W-3×0-3]
- (4)きょうと福祉認証人材育成制度 上位認証取得 [W-1・2・4×0-4]

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>Strong(強み)</p> <p>S-1 新任職員ステップアップシステム による人材育成システムの確立</p> <p>S-2 他法人等からの施設見学者の増加</p> <p>S-3 法人職員の講師派遣依頼の増加</p> <p>S-4 保育士資格取得、介護体験等 実習依頼の増加</p> <p>S-4 子育て世代等への 独自サポート制度の実践</p> <p>S-5 FUKUGAKU オープンセミナー への期待向上</p> <p>S-6 職員離職率 6%(更なる定着率の向上)</p>	<p>Weakness(弱み)</p> <p>W-1 各事業所、職種別による有給消化率 と残業時間の格差</p> <p>W-2 職員の上位等級昇格への意識が希薄</p> <p>W-3 地域サービスの視点、取り組みの不足</p> <p>W-4 次期役職候補者の育成 [中堅職員の人材育成]</p> <p>W-5 法人・各事業等外部への情報発信力</p> <p>W-6 他法人、関係機関等の情報収集・分析力</p> <p>W-7 各事業所役職者の代理観を持った運営</p>
	外部環境	<p>Opportunity(機会)</p> <p>O-1 新・人事考課制度開始</p> <p>O-2 法人経営の透明性を高める為の 積極的情報開示</p> <p>O-3 高齢化社会としての地域ニーズ に応える在宅福祉の拡充</p> <p>O-4 きょうと福祉認証人材育成制度 上位認証取得へのチャレンジ</p> <p>O-5 京都府組織活性化プログラムへの参加</p> <p>O-6 ストレスチェック制度への対応</p>

2. 利用者支援 重要課題

(1)地域の拠点法人を目指す FUKUGAKU ハリユースアップ計画の進捗

[S-1・2×T-3]

(2)各委員会活動による組織力向上 [S-5×W-5]

(3)職員スキルアップの為の情報共有【事例発表研修会の実施】

[S-1・4×W-2・5]

(4)各施設安心・安全環境向上計画の作成 [W-1×T-2]

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>Strong(強み)</p> <p>S-1 各ライフステージに応じた、福祉サービスの提供が可能</p> <p>S-2 相談支援・居宅介護・就労支援等在宅サービス提供の向上</p> <p>S-3 作業療法士資格取得実習受入による、専門職・関係機関との連携</p> <p>S-4 法人専門職 CP・OT・PT・NS 等と連携した支援体制</p> <p>S-5 法人委員会制度による積極的取り組み</p> <p>S-6 自前厨房によるご利用者の状況に応じた柔軟な食事提供</p> <p>S-7 利用者ご家族との信頼関係</p>	<p>Weakness(弱み)</p> <p>W-1 重度障害・高齢化による生活上のリスクの向上</p> <p>W-2 専門的支援・介護スキルに対する外部からの情報収集と情報発信</p> <p>W-3 職員接遇マナーの未熟</p> <p>W-4 キャリア不足による、個別支援計画策定における視点の弱さ</p> <p>W-5 専門性の向上[職員増員による研修不足]</p>
	<p>Oppportunity(機会)</p> <p>O-1 地域の小・中・高校からの、交流・福祉体験・就職体験の受入</p> <p>O-2 高齢障害者支援の先駆的取り組み</p> <p>O-3 福知山市児童発達支援センター、相談支援事業所の運営による、関係機関との連携</p> <p>O-4 外部講師との連携による、各専門職種、階層別研修の実施</p>	<p>Threat(脅威)</p> <p>T-1 利用者の重度化・高齢化が進む中での、全国的な介護・支援員不足</p> <p>T-2 利用者の重度化・高齢化に対応する設備整備資金の確保</p> <p>T-3 (障)利用者に対する、国が求めている「親亡き後」の対応</p>
外部環境		

3. 財務・経営 重要課題

- (1) 法人中・長期積立金計画の見直し【3年・5年・10年】
[S-2×0-2xT1・4]
- (2) 財務基盤の強化=報酬単価改定の影響を受けない収益率の担保
[S-3・4・5×T-2]
- (3) 経営情報公開義務化によるバリューアップ [S-4×0-3]
- (4) 児童・通所部門・介護保険部門の安定的な経営 [S-4・5×W-1・2]
- (5) 非常災害に対応する計画的な既存建物等の改修計画 [S-2×W-3×T1]

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>Strong(強み)</p> <p>S-1 安定した経営の中で、 他職種・多様な雇用形態が可能</p> <p>S-2 社会福祉事業への再投下 (建設積立金)の計画的担保</p> <p>S-3 経営安定化資金 (人件費積立金)の計画的担保</p> <p>S-4 法人目標収支率 10%以上達成</p> <p>S-5 各施設在宅事業の稼働率向上</p> <p>S-6 人件費率 (法人全体) <u>67.7%</u></p> <p>S-7 事務費対比率(法人全体) <u>7.1%</u></p> <p>S-8 事業費対比率(法人全体) <u>12.4%</u></p> <p>S-9 事業活動資金収支差額 (法人全体) <u>12.2%</u></p>	<p>Weakness(弱み)</p> <p>W-1 利用者の高齢・重度化為、 長期入院による稼働率の低下</p> <p>W-2 幼児・児童 通所サービスでの、 体調不良等による稼働率の低下</p> <p>W-3 老朽化する施設・設備改修の計画的推進</p> <p>W-4 資材、物品購入、調達方法の見直し</p> <p>W-5 コスト削減への取り組み推進</p>
	<p>Oppportunity(機会)</p> <p>O-1 施設入所利用者の高齢化に伴う、高齢 障害者支援施設として先駆的实践</p> <p>O-2 社会福祉充実計画策定義務化による、 「FUKUGAKU バリューアップ計画」 策定の正当性</p> <p>O-3 社会福祉法人「経営情報」の公開が 義務化される中で、法人経営のさら なる安定性・透明性を担保する情 報発信力の向上</p>	<p>Threat(脅威)</p> <p>T-1 非常災害対策や耐震対策等に関する、 突発的な既存建築物修繕</p> <p>T-2 H30年度報酬単価マイナス改定(▲3% を想定)を見越しての中・長期財務対策</p> <p>T-3 障害者総合支援法サービス単価と 介護保険法サービス単価の乖離</p> <p>T-4 社会福祉充実残額(内部留保)の算定を 見越した、将来的な社会福祉事業整備計 画策定</p>
外部環境		

VI. 2017 年度 重点施策と行動計

1. 法人運営 重点施策と行動計画

活力あるチーム	1-(1)	代理観をもった次世代職員の育成		
	実行計画	新・人事管理制度の実践と検証	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①人事ナビゲーターでの目標設定・評価の実施		
		②人事考課制度実施後の検証(年2回)		
	責任者	各副施設長		
	スケジュール	①4月⇒目標設定時		
		①②定期的進捗確認		
	実行計画	階層別研修会の充実	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①新任研修会の充実 年4回[法人概要・マナー・人権・医療等]		
		②中堅職員研修会Ⅰ 1等級から2等級 講師:WL 向上委員会		
③中堅職員研修会Ⅱ 2等級から3等級 講師:久田則夫教授				
④中堅職員研修会Ⅲ 法人事例研究報告会				
⑤役職者研修会 メンタルヘルス 講師:武田栄理子				
⑥事務員研修会 メンタルヘルス 講師:武田栄理子				
⑦非常勤職員研修会 法人ビジョンについて [サポートセンター]				
⑧新・役職者フォローアップ研修会 [サポートセンター]				
責任者	研修委員長・事業推進部長			
スケジュール	①5月⇒新任Ⅰ 6月⇒新任Ⅱ 7月⇒新任Ⅲ 8月⇒新任Ⅳ			
	②③④10月⇒中堅Ⅱ 11月⇒中堅Ⅰ 2月⇒中堅Ⅲ ⑤役職者研修会/⑥事務員研修会 9月 ⑦非常勤職員研修会 1月 ⑧新・役職者フォローアップ研修会			
ファン作り	1-(2)	現在と未来の福知山学園魅力発信計画の実施		
	実行計画	リニューアル版 HP の効果的運用	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①リニューアル版 HP での、法人の取り組みをリアルタイムで発信		
		②リクルートサイトでの、魅力ある法人として情報発信		
	責任者	広報委員長・事業推進部長		
スケジュール	①4月 :リニューアル版 HP 公開			
	①②4~6月:公開後の検証と修正 ①②定期での、情報発信[法人・各施設、事業所単位]			

ファン作り	実行計画	法人 PR チームの情報発信の強化	9 月達成率	3 月達成率
	目標数値	①PR チームによる、就職フェア PR グッズの作成と情報発信		
		②学校関係等の連携と PR 活動のコラボ計画の実施		
		③介護・保育 資格取得実習生とのアンケートと調査の実施		
		④新規採用者のフォローアップ対談の実施		
	責任者	PRリーダー・事業推進部長		
	スケジュール	①4 月:就職フェア PR グッズの作成 ②5 月～6 月 学校関係へのコラボ計画アプローチ ③随時、実施 ④年 3 回		
	実行計画	「翠光」での広報活動の充実	9 月達成率	3 月達成率
	目標数値	①魅力ある職場としての情報発信の強化		
	責任者	広報委員長		
	スケジュール	①年 4 回発行(春・夏・秋・冬)		
	1-(3)	地域・社会貢献としての活動計画と実践		
	実行計画	第 6 回 FUKUGAKU オープンセミナーの開催	9 月達成率	3 月達成率
	目標数値	①集客数 150 名		
		②セミナー後アンケート満足度調査 4以上[5 段階評価]		
	責任者	廣田施設長・岩佐副部長		
	スケジュール	4 月からコアメンバー会議開始 10 月		
	実行計画	施設開放と社会資源としての福祉施設の役割を果たす	9 月達成率	3 月達成率
	目標数値	①施設見学の積極的な受入 [50 団体]		
		②介護・保育資格取得 実習生の積極的な受入[50 名]		
③ボランティアの積極的受入[100 名]				
④法人スタッフの講師派遣[延べ 10 名]				
責任者	各副部長・各担当課長			
スケジュール	平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月			
実行計画	新たな地域貢献活動の計画と実践	9 月達成率	3 月達成率	
目標数値	①地域のニーズに応じた、新たな地域貢献 活動計画行くと共に活動を開始する			
責任者	事業推進部長			
スケジュール	4 月～ニーズ調査・検討 5 月～計画作成 6 月～実践開始			

活力あるチーム	1-(4)	きょうと福祉人材育成制度 上位認証取得		
	実行計画	有給消化率の向上	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①有給消化率 85%		
	責任者	各副施設長/副部長		
	スケジュール	①有給消化率確認[1/2M]		
	実行計画	ワークライフバランスの充実	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①管理職残業時間 30%削減		
		②一般職残業時間 5%削減		
	責任者	各施設長・副施設長/副部長		
	スケジュール	定例ワークライフ向上委員会にて確認[1/M]		
	実行計画	職員定着率の向上	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①正職離職率 5%以下を目指す		
		②新規採用職員のステップアップ状況の確認と面接の実施		
	責任者	事業推進部長/経理・労務 副部長		
	スケジュール	①離職率データの確認[1/M]		
		②定期確認[1/M]		
実行計画	組織活性化プログラムの参加	9月達成率	3月達成率	
目標数値	①京都市平均数値以上の満足度を目指す			
責任者	各施設長・事業推進部長			
スケジュール	①4月:平成28年度 組織活性化プログラムアンケート分析と改善計画 ②進捗の定期確認[1/3M]			

2. 利用者支援 重点施策 行動計画

ファン作り	2-(1)	地域の拠点法人を目指す FUKUGAKU バリューアップ計画の進捗		
	実行計画	FUKUGAKU バリューアップ計画を進行させる	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①みわ翠光園改修チーム/就労 A 型・GH 検討チームにて定期的な協議を開始する。		
		②各事業における運営シュミレーション(職員配置・収支)の実施		
		③定期的な設計事務所との確認会議の実施		
		③定期的な行政協議の実施		
責任者	財務部長・事業推進部長			
スケジュール	①②平成29年4月～ 1/M ③平成29年4月～1/2M ④年3回			

ファン作り	2-(1)-2	地域福祉サービス拡大		
	実行計画	[障]ショートステイ・デイサービスの提供の充実	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①前年対比 3%UP		
	責任者	各副施設長・サビ管		
	スケジュール	平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月		
オンリーワン	2-(1)-3	福祉サービスのアウトリーチ拡大		
	実行計画	居宅介護事業の新規利用者の確保	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①居宅介護サービスの強化[契約者数 UP]		
	責任者	地域生活支援センター長、副センター長		
	スケジュール	平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月		
オンリーワン & チーム作り & ファン作り	2-(2)	各委員会活動による組織力の向上		
	実行計画	委員会の取り組みの PDCA を確実に循環させる		
	目標数値	[RM 委員会]		
		①KYT の実施による危険意識の向上		
		②過去のひやりはっと・事故報告データによる、 推測を持った注意喚起		
		[研修委員会]		
		②研修計画による、人材育成		
		[人権委員会]		
		③人権活動報告会による、職員人権意識の拡大		
		[広報委員会]		
		①他法人又企業の広報部門調査と分析		
		②ターゲットを明確にした、法人魅力発信計画の作成と実践		
	[医務委員会]			
	①医療専門職としての情報発信と資料作成			
[給食委員会]				
①利用者高齢化・重度化に対応できるソフト食研究				
②管理栄養の視点を持った献立作りの研究				
③食材コスト管理についての情報共有の強化				
[PR チーム]				
①新卒採用に向けての、PR アイテムの作成				
②他法人、企業の採用・PR 手法の情報収集と分析				
責任者	各委員長			
スケジュール	各委員会会議実施 1/M 企画会議にて提案と報告 1/M			

活 力 あ る チ ー ム	2-(2)-3	組織力の強化		
	実行計画	各会議・ミーティングの改善・活性化	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①目的を達成する会議の進行		
		②会議時間の短縮するための事前準備		
		③職員参画型オープンミーティングの実施		
責任者	各施設主任・サポートセンター			
スケジュール	①②③⇒会議事前準備:1. タイムテーブル 2. レジユメの作成 3. 事前意見徴収……等			
オ ン リ ー ワ ン	2-(3)	職員スキルアップを図る、情報共有[事例研究報告会]		
	実行計画	事例発表研修会計画と実施	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①各事業所の支援・介護事例報告書の作成		
		②法人内事例報告研修会計画と実施 [10月]		
	責任者	研修委員会委員長・事業推進部長		
	スケジュール	①平成29年4月～平成30年3月 / ②平成29年10月		
	2-(4)	各施設安心・安全環境向上計画の作成		
	実行計画	各施設(事業所)の利用者環境改善	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①(各施設[事業所])「安心・安全レベルアップ改修」の計画的実施		
		②施設改修(ハード面)整備計画の策定		
責任者	各施設長・管理者			
スケジュール	①②平成28年⇒3月整備計画(案)・スケジュール作成 ⇒4月～スケジュールに沿っての計画的実施			

3. 財務・経営 重点施策 行動計画

財務内容の安定	3-(1)	法人中・長期積立金計画の見直しと策定【3年・5年・10年 Ver】		
	実行計画	FUKUGAKU バリューアッププラン資金計画書で策定している中期(3年・5年 Ver)積立金計画の見直しと、将来的な施設整備・修繕や報酬単価改定等を予測した長期目標(10年 Ver)の策定	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①法人中期積立金計画書[3年 Ver:H30 年度末 13 億 2000 万円目標]を実質的な計画数値に見直し		
		②法人中期積立金計画書[5年 Ver.]を H30 年度報酬単価改定や H33 年度報酬単価改定率も想定する中での見直し		
		③法人長期経営計画書[10年 Ver.]を 3 年毎の報酬単価改定や FUKUGAKU バリューアッププラン以降の施設整備・修繕等計画も加味した中での策定		
	責任者	(法人)財務部長・副部长		
	スケジュール	平成 29 年 4 月～8 月 3 年 Ver 及び 5 年 Ver の見直し / 9 月～3 月 10 年 Ver の新規作成		
	3-(2)	財務基盤の強化＝報酬単価改定の影響を受けない収益率の担保		
	実行計画	報酬単価改定等の事業を取り巻く外部環境変化への対応と、継続企業の源泉となる収益率の担保	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①事業活動資金収支差額率 10%以上を担保		
		②物品購入コストのみでなく、電力等のインフラコストも含めた各項目 5%減を目標とする経費削減		
		③H30 年度報酬単価▲3%を想定した、新人事制度予算原資等を含めた全体予算シミュレーション及び収益率シミュレーションの作成		
	責任者	(法人)財務部長・副部长・各施設長・事務員		
	スケジュール	①平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月 ②③平成 29 年 4 月～平成 30 年 1 月		
	3-(3)	経営情報公開義務化によるバリューアップ		
	実行計画	社会福祉法改正により H30 年度より義務化される法人経営情報公開への実務的対応と、社会福祉法 24 条で条文化された地域貢献活動への取組みと情報発信	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①法人ホームページ改定における経営情報公開ページの更なる充実		
		②既存地域貢献活動内容の整理と新規地域貢献施策の検討		
③更なるコンプライアンス強化と事業の透明性を図る為の、監査法人等による会計監査実施に向けた調査				
責任者	(法人)財務部長・副部长・事業推進部長			
スケジュール	①平成 29 年 4 月～平成 29 年 5 月 ②③平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月			

財務内容の安定	3-(4)	児童・通所、居宅部門・介護保険部門の安定的な経営		
	実行計画	今後も地域ニーズや事業規模の拡大が予測される在宅サービス部門の強化	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①既存在宅サービス部門(すきっぷ・通所・シンフォニー・ほほえみの里・テイ等)の稼働率維持及び向上		
		②月次財務会議における在宅事業稼働率増減要因分析と次月以降の対応策作成の徹底		
		③H30 年度報酬単価改定情報集約と FUKUGAKU バリュースタップラン在宅サービス事業内容への反映		
	責任者	(法人)財務部長・副部長・事業推進部長		
	スケジュール	①平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月 ②③平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月		
	3-(5)	非常災害や防犯等に対応する為の計画的な既存建物等の改修計画		
	実行計画	敷地内に傾斜地等を抱える施設(あまだ翠光園・みわ翠光園等)の、土地形状補強や施設改修等の計画策定及び防犯対応等を勘案したおさだの翠光園の施設外周整備計画策定	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①みわ翠光園においては、H30 年度より開始する FUKUGAKU バリュースタップランに併せ、土地形状補強等を含めた計画策定		
		②おさだの翠光園においては、H30 年度より開始する FUKUGAKU バリュースタップラン事業として、防犯等を勘案する中での施設外周整備計画の策定		
		③あまだ翠光園においては、FUKUGAKU バリュースタップラン完成以降の、土地形状補強及び施設整備計画の検討と整備年次計画の策定		
		④上記①②③整備計画に併せた資金計画の策定		
	責任者	(法人)財務部長・事業推進部長・各施設長・副施設長		
スケジュール	①②③④ 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月			